

広報

にしあわくら

7月



特集「村の狩猟ってどうなっとん？」
No.746

村の狩猟ってどうなっとな？



はじめに

今回の特集では、村の「狩猟」について取り上げます。山や森に囲まれたこの地域には、シカをはじめとする多くの野生動物が生息しており、その豊かな自然環境の恩恵を受けています。村では、その自然の恵みを活かし、狩猟を通じて得たジビエを自ら食したり、加工して販売する取り組みを行っています。

この特集では、普段あまり知られることのない狩猟の世界を紹介し、その魅力と課題について深掘りします。実際に狩猟を行っている現役のハンター、西栗倉村猟友会会長白島正宏さんと野木雄太さんにインタビューし、お二人の経験を通して村の狩猟の現状や未来についてうかがいました。

村にハンターは何人？

・村内の狩猟人口について
令和6年度時点で、猟友会の会員数は20人（わな・銃を使える猟師6人・わな猟師14人）です。下記の表の通り、ハンターの年齢を見たとき、最近若い人も狩猟を行っていることが分かります。

年齢層	人数
20代	2名
30代	6名
40代	4名
50代	3名
60代	2名
70代	2名
80代	1名

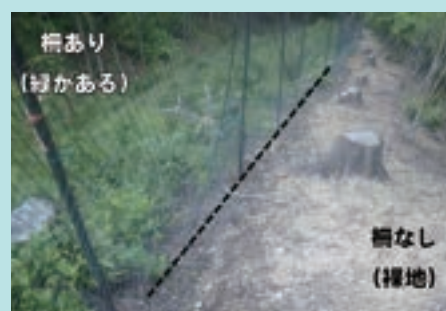
狩猟をしないとうなる？

（狩猟はなぜ必要？）

増えすぎたシカなどが生態系や農作物、人々の生活環境に及ぼすさまざまな被害を抑えるため、ハンターが生息数を適切に管理すること

どうやって捕獲する？

狩猟にはさまざまな方法があります。狩猟には狩猟免許と狩猟者登録が必要になります。また狩猟免許の種類によって捕獲の方法が異なります。



（株）百森 写真提供

が重要です。村で一番多い被害はシカによる被害です。例えばシカによる農作物や植えたばかりの木の苗の食害などが問題になっています。また、村は、全国的にもシカの数が多いです。そのため百年の森林事業では植林時に鹿柵を設置しています。

捕獲後はどうする？

・わな猟 わなについては、主に箱罾やくくり罾などがあります。
・銃猟 空気銃（第2種狩猟登録）、散弾銃・ライフル（第1種狩猟登録）を用いて捕獲します。 ※銃の所持については「銃砲所持許可」が必要になります。

狩猟の目的として、農作物や人への被害を減らすことに加え、山に生息するシカなどの動物に対して理解と感謝の気持ちを持ち、捕獲した際には「その命をいただく」ことを大切にしています。村内では、捕獲後に、ハンター自ら捌き食べる、また株式会社エーゼログループが運営する獣肉処理施設に持っていく、加工、それを「森のジビエ」として村の飲食店やふるさと納税の返礼品など活用しています。また学校の給食でもシカやイノシシの肉を使用しています。



→「猪肉のしぐれ煮」児童が考えたメニュー。



→森のジビエ

Interview

若者が狩猟に惹かれる理由とベテランの視点から見る狩猟の魅力



白島 正宏
（しらはた まさひろ）さん
わな猟師（銃猟経験者）
西栗倉村猟友会 会長



野木 雄太
（のぎ ゆうた）さん
エーゼロ・グループ
わな猟師



狩猟に挑戦したいと思った方は？



STEP

1

狩猟免許に申込

美作県民局に申請します。申請書については役場の産業観光課窓口にあります。

・わなを使用して狩猟？ 銃を使って狩猟？

※銃猟の場合は別途、銃の所持許可手続きが必要です。

・試験を受ける前に岡山県猟友会が開催する「初心者講習会」に参加しよう！



STEP

2

狩猟免許試験を受けよう！

試験は年6回。免許の種類ごとに知識、適正、技能試験があります。



STEP

3

試験に合格したら？

狩猟免状の交付を受け、美作県民局に狩猟者登録を行う必要があります。また、西粟倉村猟友会に所属しましょう。所属をすることで狩猟者登録を一括で行うことができます。

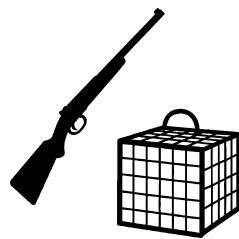


STEP

4

狩猟

岡山県の狩猟期間は11月15日～2月15日です。
(イノシシ及びニホンジカは、11月15日～3月15日)
(ツキノワグマは、11月15日～12月14日に短縮)
※また狩猟にはさまざまなルールがあります。



・狩猟に興味を持ったきっかけ

野木さん ー村に移住前、地元の猟師さんが獲ったシカの肉をごちそうしてくれました。イメージしていたよりずっと美味しくて驚きました。それが狩猟に関心を持つ最初のきっかけでした。

・狩猟の魅力について

白旗さん ー山に入って、痕跡や匂い、地形を読みながら、獲物の動きを想像する。それがうまく当たって獲れたときの達成感は本当に大きいで。

野木さん ー獲れたときのうれしさはもちろんありますが、近所の農家さんから『獣害に困っている』と相談され、実際に仕留められたときに感謝してもらえたこともうれしかったです。また、エーゼ口に所属し、加工なども行っています。きちんと血抜きをして処理す



ば、臭みもなくて美味しい肉になります。給食でシカ肉が出されたとき、子どもたちが美味しそうに食べている姿を見て、本当にやってよかったなと感じました。

・昔の狩猟（銃猟）について

白島さん ー昔は銃猟しかなかった。7、8人で山に入り狩猟を行っていった。大概、相棒で猟犬がおつて、山の中で猟犬が獲物を追い、ハンターは逃げ道を予測して待ち構える一連で狩猟していた。うまいこと取れた後は、みんなでその場で解体して食べたっていた。

・今後の狩猟について

白島さん ー今は狩猟に興味を持っている人も多いと思う。最近はお女の人でも狩猟を行ったりしているで。

野木さん ー免許は比較的取りやすいのですが、実際にどこに罠を仕掛けて、どうやって獲ればよいのか分からないという人も多いです。ベテランの猟師と一緒に山に入り、実地で学べるような機会がもつとあれば、続ける人も増えるのではと思います。



ルーレットをまわして楽しく本選び♪



図書館にルーレットが登場！
回して出た分類番号の棚から、おすすめの一冊に出会える企画です。スタッフや村民のコメント付き。あなたのおすすめも募集中！

子ども向け夏休みイベントやります！

今年も夏休みのイベント企画をやります！詳細は後日、各学校のおたよりや館内ポスターや会館のSNSでお知らせします。お楽しみに！



◀Instagram QRコード

ご利用案内

図書館のおやすみ 7月

21日(月・海の日)
28日(月・図書館整理日)

図書館の休館日：祝祭日、毎月最終月曜、年末年始

あわくら会館 開館時間 8:30 ～ 22:00

あわくら図書館 開館時間 10:00 ～ 18:00

あわくら会館のイベントの詳細は別紙チラシをご覧ください。

図書館の新刊案内

『Notionなんでも事典』

溝口 雅子／著 技術評論社



進化する Notion の使い方を完全網羅。初心者でも分かりやすい基本操作からAI活用、数式、連携機能まで、実用的な 288 のテクニックを紹介！

● 一般書

『難しいことはわかりませんが、お金の増やし方を教えてください!超改訂版』

山崎 元、大橋 弘祐／著 文響社



貯金、保険、年金、NISA…。結局、お金ってどうするのがいいの？お金の素人がプロに聞いた、誰でもできる安心な貯め方・増やし方。新NISA対応の体験談も収録！

● 一般書

『珈琲怪談』

恩田 陸／著 幻冬舎



京都や神保町など各地の喫茶店を巡りながら、働き盛りの4人が語る怪談。ほろ苦く心に残る連作短編集。

● 一般書

『かたあしの母すずめ』

棕 鳩十／作、大島 妙子／絵 理論社



片足を失った母すずめが、ひなを守るために奮闘する感動の物語。命の強さと親の愛を描いた心揺さぶる絵本。

● 児童書

※書誌画像出典：TooLi（TRC 図書館流通センター）

お問い合わせ先 あわくら会館・図書館 TEL 0868-79-2116 教育委員会事務局 TEL0868-79-2216



あつまる、つながる、やってみる、
あわくら会館



色を作り、文字を書く
時間を楽しむ
5月17日(土)、別府地区の福井啓太さんに講師をしていただき、「草木でつくる古典インク×ガラスペン入門」を開催しました。
身近な草木から抽出した自然の色でインクを作り、ガラスペンで文字を書く体験に、参加者からは「次は、ガラスペンを使って手紙を書きたい。」との声もありました。
次の企画につながるイベントとなりました。



絵本の読み聞かせ会を開催しました
5月18日(日)、絵本専門士のうっちー先生こと内田大樹さんをお迎えし、絵本作家・谷口智則さんの絵本を楽しむ読み聞かせ会を開催しました。うっちー先生の豊かな表現とユーモアあふれる語り、子どもたちは夢中になり、大人も思わず笑顔に。登場人物の魅力やストーリーの奥深さが丁寧に語られ、会場は終始あたたかな雰囲気になりました。絵本の世界にどっぷり浸る、贅沢な時間となりました。

あわくら会館で「生きるを楽しむ」様子を紹介



▲ note

▲ Instagram
イベント情報

▲ Facebook



「ぼくたちもやってみよう！」
小学校のリレーカーニバルを目の前の特等席で応援させてもらった子どもたち。かっこよく走るお兄さん・お姉さんに刺激を受けて、園庭でもリレーごっこが盛り上がりを見せています。
勝ち負けで感じる気持ちだけではなく、「たくさん走った・一生懸命走った“充実感や、”のどが渇くくらい応援した！“というその子なりの楽しみや満足感を大切に受けとめながら遊びを深めていきたいと思います。
さあ、9月の運動会ではどんな姿が見られるでしょうか？今からとても楽しみです！

幼稚園



「上手に乗れるかな」
車のカートを乗りこなせるようになったら次は三輪車。そら組さんが上手に乗っているのを見て、ぼくも！わたしも！と挑戦しています。足が届かなくてもうれしそうなのが印象的です。車輪の動きを研究してみたり、溝の蓋を道路に見立てて並んで走ったりとそれぞれに楽しむ子どもたち。遊びながら、体幹トレーニングもバッチリです！

保育園





小学校

大きな成長を見せてくれた
海事研修

6月2日(月)から3日(火)に、西栗倉小5年生は玉野市にある洪川青年の家へ海事研修に行きました。いかだ遊び、カッター(小型ボート)研修、貝殻のフレーム作り、小雨が降る中地引き網体験と、全てのメニューに全力で取り組み、みんな力を合わせた一体感とやり遂げた達成感を味わいました。



中学校

おーきなわ
大きな輪(沖縄)の旅

6月4日(水)から3日間、3年生は修学旅行に行きました。沖縄の豊かな自然や文化に触れながら、仲間といっしょにたくさんの思い出をつくることができました。また、資料館やガマなどを見学しながら、戦争の悲惨さや平和の大切さについても考えることができました。「オキナワ」から多くのことを学びました。



5月20日(火)～
5月23日(金)

中学生職場体験

5月20日(火)から4日間、西粟倉中学校2年生の生徒が村内の様々な事業所で職場体験をしました。それぞれの職場での様子と頑張りたいことや将来の夢などについて紹介します。



角田 春陽
ーあわくらんどー

「接客や明るい挨拶をしたい。将来は美容師などの接客業がしたい。」



豊福 詠
ーリムルベーンー

「自然や蜂の知識を蓄えたい。将来は通訳になりたい。」



岡田 禱
ー産業観光課ー

「いいところを盗む。将来は教師になりたい。」



木村 太一
ー井上商店ー

「協力してお客様に快適な接客をしたい。将来はパイロットか山小屋の仕事をしたい。」



青木 涼音
ー西粟倉保育園ー

「子どもたちと触れ合うことを大切にしていきたい。将来はプロ野球のトレーナーになりたい。」



吉竹 崇次郎
ーであい茶屋ー

「人の助けになる活動をしたい。将来は人を楽しませる仕事がしたい。」



草刈 龍了
ー株式会社木薫ー

「新しいことを学びたい。将来はICT関連の仕事をしたい。」



宮本 真緒
ーひだまりー

「利用者さんに寄り添いたい。将来は看護師になりたい。」



乾 夢音
ー小松組ー

「人の役に立つように頑張る。将来は人の役に立つ仕事をしたい。」



安妻 姫菜
ー湯～とぴあ黄金泉ー

「施設の管理や石鹸、シャンプーの補充を頑張りたい。将来はパン職人になりたい。」



野田 侑
ー元湯ー

「いろんなバリエーションのことを頑張りたい。将来は収入が安定している仕事をしたい。」



仲宗根 叶大
ー株式会社百森ー

「苗木を植えたり柵を作ったりを頑張っています。選択肢の多い人生を歩みたい。」



編集 井上 敬悟 ー総務企画課ー

「職場体験広報の編集や取材を頑張りたい。今は将来公務員になりたいと思う。」「この職場体験で学んだことをこれからに生かしていきたい。」



嘉味田 仁
ー(株)エーゼログループー

「社会人に必要なスキルや人付き合いについて学びたい。将来はサッカー関係の仕事をしたい。」



森下 幸明
ーBASE101%ー

「お客様が快適に過ごせるようにしたい。将来はプロ野球かその関係の仕事をしたい。」



國里 美優
ー西粟倉幼稚園ー

「人とのつながりを持ちたい。将来はアニメーター、イラストレーター、保育士のどれかになりたい。」

新・人権擁護委員に 河野好委員・山下英輔委員



河野好さん・山下英輔さんが

令和7年7月1日付けで、法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。任期は3年間です。人権擁護委員制度は、さまざまな分野の人たちが人権思想を広め、地域の中で人権侵害がされないよう配慮して人権を擁護していくことが望ましいという考え方から設けられています。

河野 好委員（猪之部地区）

子どもたちの活動を支えたり、一緒に活動できたらと思っています。また、子どもたちが少しでも差別に気づき、正しくいうとする気持ちを持ってくれるように、お手伝いしていきたいと思います。3年間どうぞよろしくお願いします。

山下英輔 委員

人権とは、通常の生活の中にある、“あたり前”を守ることだと思っています。そのためには、地域などで起こっているいろいろな課題に気づくことが、委員にとって大切な役割だと考えます。今以上に地域のみなさんとのふれあいを増やし、寄り添うことで、“あたり前”を守っていくお手伝いができればと思います。3年間どうぞよろしく願います。

【保健福祉課】

私たちヘルスボランティア委員会です

私たちヘルスボランティア委員会は「みんな元気、心と体の健康づくり ふれあいを喜びに、いきいきと生活できる地域づくり」をキャッチフレーズに活動しています。

5月の総合健診では、昨年と同様に健診を受けられた方へ1日に必要な野菜の摂取を勧めました。料理に含まれる野菜の量や、野菜100gの展示をしました。

また、歯周病と糖尿病の関係についてのパンフレットを配布し、歯周病予防の大切さを伝えました。普段会えない若い人への声掛けもできました。

私たちはヘルスボランティア委員は、地域のみなさんの健康づくりのお手伝いをしています。お気軽に声をかけてください。



料理に含まれる野菜の量を見てもうりました。



普段会えない世代の方へも声掛けできました。

【保健福祉課】

国民健康保険（国保）・後期高齢者医療保険（後期高齢）にご加入の方へ

1. 資格確認書等の発送について

7月は、すべての被保険者資格（国保高齢受給者証（70〜74歳）、国保限度額適用認定証（毎月の医療費が一定以上かかる方）、後期高齢者医療被保険者証（75歳以上）及び限度額適用認定証）の更新月です。令和6年12月2日から被保険者証が発行されなくなったため、暫定的に『資格確認書』または『資格情報のお知らせ』をお送りします。

国保限度額適用認定証の対象の方には、更新のための申請書を7月上旬に郵送します。8月1日以降も必要な方は、窓口で申請をお願いします。
※マイナ保険証を利用している方は、申請不要です

種類		有効期限	郵送時期	郵送を希望しない場合の連絡期日	備考
国民健康保険	資格確認書または資格情報のお知らせ	7月31日	7月下旬	7月11日	70歳〜74歳の方には、負担割合が明記されます
	限度額適用認定証（マイナ保険証を利用していない方）	7月31日	—	—	申請書のみ発送
後期高齢者医療保険	資格確認書	7月31日	7月下旬	7月11日	75歳以上（限度額区分の記載が必要な方は窓口へお越しください）

※今まで使われていた被保険者証は、各自で処分するか、窓口にお持ちください。

※保険税（料）を滞納している方には、郵送されない場合があります。その際は、下記窓口までご連絡ください。

2. 保険料率が変わりました

■国保

年度		令和6年度	令和7年度
医療分	所得割	7.00%	8.0%
	均等割	21,000円	22,000円
	平等割	18,000円	19,000円
後期高齢者支援金分	所得割	3.10%	3.10%
	均等割	9,000円	9,000円
	平等割	7,000円	7,000円
介護納付金分	所得割	2.20%	2.20%
	均等割	9,000円	9,000円
	平等割	5,000円	5,000円

医療機関を受診する際は、
マイナ保険証が便利です！

マイナンバーカードの申請や「マイナ保険証」の利用登録については、お問い合わせください。



■後期高齢

		令和5年度	令和6年度	令和7年度
均等割額		47,500円	50,200円	
所得 割 率	賦課のもととなる 所得金額58万円以下	9.50%	9.76%	10.49%
	賦課のもととなる 所得金額58万円超		10.49%	
賦課限度額		66万円	(※)80万円	

(※)令和6年度の賦課限度額は
激変緩和措置により、
令和7年3月31日時点で
75歳以上の方等は73万円となります。

【連絡先・窓口】保健福祉課 国保・後期高齢係

【保健福祉課】

【TAKIBIプログラム 事業者審査会を開催しました】

地域資源を活用し、村に新たな価値の創出を目指す「TAKIBIプログラム」。本年度の事業者審査会を開催し、厳正な審査の結果、3件の提案が採択されました。

採択事業は今後、地域との協働を深めながら実践へと進みます。挑戦を通じ、村に新たな火をともし取り組みにご期待ください。



(審査会のようす)

株式会社 点々／ 農業の高収益化

知社地区で里山ライフスタイルをブランド化し、商品価値を高める。

株式会社 木の里工房 木薫／ 農業の高収益化

コメ生産に参入し、生産性・価値向上、新たな販売チャンネルの開拓

西粟倉 百年の森林協同組合／ 新たな森林価値の活用

インバウンド向けコンテンツ開発を行い、村の魅力発信に寄与

【産業観光課】

西粟倉村低炭素なむらづくり 推進施設設置補助金について

村内の家庭における再生可能エネルギーや省エネルギー設備の導入に対する支援を行っています。

【対象設備について】

住宅用太陽光発電施設、太陽熱温水器、複層ガラス、電気自動車、省エネ型電気冷蔵庫買い換えなど17の事業が補助金支給対象となっています。

【対象となる人・建物】

・本村に住所を有する方
・自ら居住する村内の住宅(店舗などとの併用住宅を含む)

【申請について】

設備を購入される前に必ず役場に申請を行ってください。
産業観光課窓口に必要な書類を用意しています。役場ホームページからも書類のダウンロードが可能となっています。ご不明な点がございましたら、産業観光課にご相談ください。

【産業観光課】

第39回 村長杯ゲートボール大会

5月22日(木)、コンベンションホールにおいて「第39回村長杯ゲートボール大会」が開催されました。GB協会から5チーム、議会から1チームの計6チームが優勝を目指して白熱したゲームを繰り広げました。

また、役場へ職場体験に来ていた中学生もチームに参加させていただきました。最初は第一ゲートの通過に苦労しましたが、みなさんのアドバイスのもと、第一ゲートだけでなく、その後のゲートについても通過することができました。ゲートボールを通して、心身ともにリフレッシュし、ますます活躍されることを願っています。
入賞チームのみなさんおめでとうございます。

／ 結果 ／

優勝	チームグリーン
準優勝	大茅 チーム
第3位	影石 チーム



第11回 村長杯グランドゴルフ大会

5月19日(月)、第11回目となる村長杯グランドゴルフ大会が天岡グランドゴルフ場にて開催されました。

当日は天気に恵まれ、多くの参加者が和気あいあいと親睦を深めながらグランドゴルフを楽しみました。グランドゴルフを通じて健康を維持し、これからも元気に活躍されることを願っています。

入賞のみなさんおめでとうございます。

／ 結果 ／

優優勝	高木 智子
準優勝	萩原 純子
第3位	豊福 秀樹
第4位	豊福 基世
第5位	榎原 映子



【総務企画課】

花育プロジェクト 今年も花の植え替えを行いました

5月28日(水)、ボランティア団体「花水木(はなみずき)」さんのご協力で、あわくら会館入口にあるプランターの植え替えを行いました。

花育プロジェクトとは、あわくら会館の周りを、会館を利用するみなさんの手で彩り豊かな花できれいにしようという企画です。

今回は、夏の暑さにも強いペチュニアとカリブラコアを選び、植物に詳しい方のアドバイスを受けながら、色とりどりに植栽しました。来館の際は、役場・会館入口の花々もぜひお楽しみください。四季折々の彩りが、みなさんをお迎えします。

毎年春・秋の2回、花の植え替えを行っています。この企画に興味を持たれた方は、ごな



【総務企画課・図書館】

おしえて年金

付加保険料制度について

付加保険料制度は、国民年金の一般保険料に加えて付加保険料(月々400円)を納めることにより、老齢基礎年金に付加年金が上乗せされる制度です。

付加保険料を納めるためには、申し込みが必要であり、申し込みをした月分から付加保険料を納めることになります。

産前産後期間の国民年金保険料が免除になります

出産予定日または出産日が属する月の前月から4か月間の国民年金保険料が免除になります。届出は、出産予定日の6か月前からできます。

どちらの届出も役場窓口で手続きが可能です。令和6年3月

も参加が可能です。植え替えの時期については、文字・告知放送でお知らせします。みなさんご参加をお待ちしています。

29日よりスマートフォンでの電子申請もできます。詳しい利用方法は、日本年金機構ホームページをご確認ください。

年金受給者のみなさまへ

令和7年5月26日からの戸籍法改正に伴い、変更後のフリガナと年金受取口座の名義が異なると年金の支払いが一時的に止まる場合があります。日本年金機構から「氏名変更のお知らせ」が届いた方は、金融機関の窓口等で口座名義を変更する手続きが必要です。

★詳しくは、保健福祉課または津山年金事務所
(電話0868・31・2360)
までお問い合わせください。

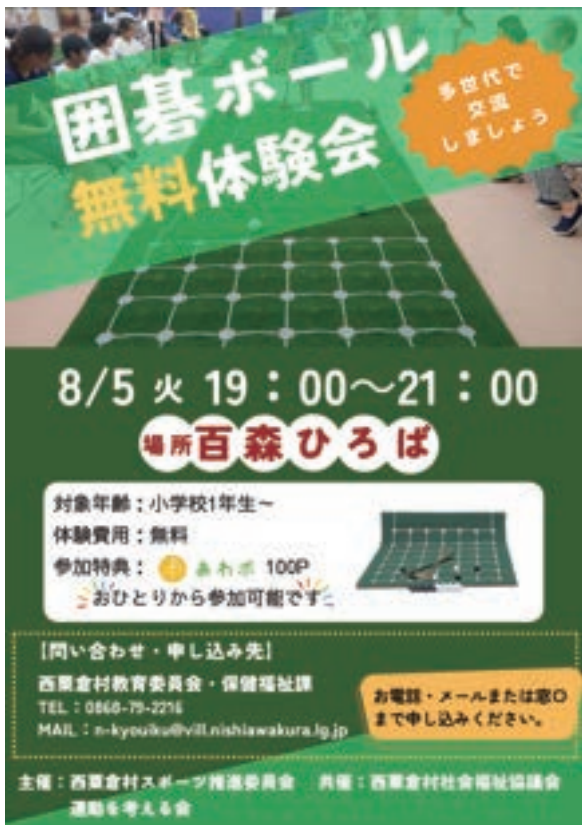
【保健福祉課】

囲碁ボール無料体験会開催のお知らせ

日程 令和7年8月5日
(火) 19時から21時
場所 百森ひろば
対象年齢 小学校1年生
体験費用 無料
参加特典 あわポ100P

おひとりから参加可能です。
お電話または教育委員会窓口までお申し込みください。皆様のご参加をお待ちしております。

主催 西栗倉村
スポーツ推進委員会
共催 西栗倉村社会福祉協議会
西栗倉村スポーツ推進委員会



【教育委員会】

「サマージャンボ宝くじ」と 「サマージャンボミニ」が同時発売されます。

今年の「サマージャンボ宝くじ」は、1等・前後賞合わせて7億円

1等5億円×23本
1等の前後賞各1億円×46本
※当せん本数は発売総額690億円・23ユニットの場合

同時発売の「サマージャンボミニ」は、1等・前後賞合わせて5000万円!」

1等3000万円×70本
1等の前後賞各1000万円×140本
※当せん本数は発売総額210億円・7ユニットの場合

【発売期間】
令和7年7月11日(金)から8月11日(月)まで
この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。



脱炭素先行地域 にしあわくら Vol.2

地域でつくる再生エネルギー

西栗倉村では、今年度も引き続き、地域資源を活かした脱炭素の取り組みを進めています。具体的には、小水力発電の新設や、幼稚園・保育園などへの太陽光パネルの設置を予定しています。これらの再生可能エネルギーによって生まれた電力は、百森でんきと連携しながら販売や活用を進め、地域内での利益循環につなげていきます。たとえば、太陽光パネルは百森でんきが設置・運用を担い、得られた電力収入

が再び村の環境整備や事業支援に活かされる仕組みです。

また、小水力発電も、安定した自然の力を活用し、将来的な地域の財源確保につながる可能性を持っています。こうした取り組みを通じて、村のエネルギーを村でつくり、村で活かす。持続可能な地域づくりを、少しずつ形にしています。



むらまるごと通信 vol.44

【今年からスタート！リモコン式
草刈機による事業を始めます】

西栗倉むらまるごと研究所では、草刈りの負担軽減を目指し、リモコン式草刈機を活用したサービス事業を実施します。

これまで村内の農地や傾斜地などで、リモコン式草刈機を使った検証を進めてきました。今年度は、実証実験から一歩進めて、リモコン式草刈機によるサービスを提供します。農地や傾斜地など、さまざまな場所で運用し、みなさんのご意見を取り入れながら安全で効率的な作業に取り組んでいきます。

また、実際の操作の様子をご覧いただける見学会も、今後参加しやすいかたちで開催予定です。日程が決まり次第、みなさんにご案内いたします。

リモコン式草刈機により、時間短縮や体力面での負担軽減だけでなく、安全に草刈りができるなど、多くの可能性が広がります。その分、他の農作業に時間を回したり、体調や年齢に合わせて無理のない作業ができることも期待できます。草刈りにお困りの方や、関心のある方はぜひご相談ください。



連絡先 090-4109-6500

あわくら大学5月講座

変わり続ける村と私たち

あわくら大学では、村を学び、村とともに変わり続けることを大切に行っています。5月の講座では「村巡り」をテーマに、地域おこし協力隊の活動地・知社地区を訪問しました。移住者が養鶏や地域資源循環に挑戦し、結婚や出産を通じて地域社会に溶け込んでいく姿や地区のおばあちゃんからお子さんに「この村に生まれてくれてありがとう」と言われたエピソードは、参加者の心に深く響くものでありました。

年齢を重ねてもなお、学び、知り、変わることを楽しみにしている学生のみなさん。講座の日には少しおしゃれをし集まり、人との出会いや村の今に触れる時間を心から楽しみました。「こんなことが村で起きているなんて」と目を輝かせて見学されました。あわくら大学は、これからも変化する村のなかで、変わり続ける人を育んでいきます。



あわくら会館・図書館 副館長白岩将伍

特色ある教育通信

西栗倉中キャリア教育講演会
実施しました

5月12日、西栗倉中学校でキャリア教育講演会を実施しました。総合的な学習の時間「あわくらみらい学」の出発点として、西栗倉村役場の上山隆浩さん、株式会社百森の清水美波さん、西栗倉百年の森林でんき株式会社の寺尾武蔵さんの3名をお招きし、地域課題へのアプローチや日々の実践について語っていただきました。

生徒たちは3グループに分かれて講師の話聴き、教室で互いに内

容を共有しました。「人を巻き込む力が大事」「課題と問題の違いを初めて考えた」「鹿の方が人口より多いと知って驚いた」など、多くの気づきや問いが生まれ、「移住者の数」「百年の森林構想の努力」「鹿対策」などへの関心も高まりました。

今後の探究活動では、この講演会で得た視点や疑問を出発点に、地域と自分自身の興味をつなげて学びを深めていきます。



教育コーディネーター 今井晴菜

西栗倉村社会福祉協議会

令和6年度事業報告、決算報告

西栗倉村社会福祉協議会は、地域で暮らす方々の参加・協力のもと「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らすことができる福祉の村づくり」の実現を目指して事業を展開しました。

令和6年度 実施事業報告

☆法人運営

- ・理事会の開催
- ・評議員会の開催
- ・社協会員の状況
(個人会員363名 団体会員14団体)

☆地域福祉活性化事業

- ・いきいきふれあいサロンの活動支援
(高齢者の集いの場)
- ・地区サロン学習会の実施
- ・介護予防事業(はなの会)
- ・外出支援サービス事業(福祉バス)
- ・日常生活自立支援事業
- ・生活福祉資金特例貸付事業
- ・フードドライブ事業(生活困窮者)
- ・弁当配食サービス事業
- ・買い物ツアー事業(引きこもり防止)
- ・ミニシルバーセンター事業
(高齢者の生きがいづくり)
- ・通所付添事業(であい茶屋)の活動支援

☆ボランティア活動事業

- ・ボランティア活動協力校
(幼稚園・小学校・中学校)
- ・生活応援センター事業(楽々)
- ・一時預かり託児(おひさま)
- ・病児・病後児保育事業(にじ)
- ・夏のボランティア体験事業

☆その他の事業

- ・赤い羽根共同募金事業
- ・日本赤十字事業
- ・災害救援事業(義援金事業)
- ・地域包括支援センターとの協働事業
- ・ふれあい祭り(福祉大会)
- ・各種団体への活動支援

令和6年度 一般会計収支決算報告書

科目決算額		単位:円
収入	会費収入	484,500
	寄付収入	165,000
	補助金収入	17,720,844
	受託金収入	8,665,679
	利用料収入	402,450
	その他の収入	1,269,350
	福祉有償収入	387,690
	受取利息収入他	150,000
支出	収入合計	29,245,513
	人件費支出	25,990,209
	事業費支出	16,891,223
	事務費支出	5,165,430
	助成金支出	338,674
	支出合計	48,385,536
活動増減差額		△ 19,140,023

第14回 村老連杯囲碁ボール大会

6月19日(木)第14回村老連杯囲碁ボール大会をあわくら会館百森ひろばで開催しました。総勢77名の参加があり、日頃の練習の成果が発揮され、白熱した試合が各コート繰り広げられていました。

成績結果			
団体戦	優勝	準優勝	第3位
ひまわり会(下土居)	天岡会A(猪之部)	にこにこA(中土居)	
個人戦	優勝	準優勝	
林正之さん(塩谷)	草刈弘幸さん(坂根)		



川柳

選者吟

○毎月第三土曜日の午後一時三〇分からあわくら会館で活動しています。
丁寧に指導しますので、初心者の方もぜひご参加ください。

兼題・葉の日・初夏・自由題
雨上り山動きたる卯月かな
板塀のすぎ間を縫うて初夏の風
ひこにやんの緩き手捌き初夏の城
この川の主は川鶉よ羽広ぐ
山藤や人目もなくて過疎の里
単衣着てこはぜ眩しき白き足
畦添いの水路に初夏の音軽し
食卓の席は変はらず夏に入る

選者 乾 北星

俳句

あわくら俳句教室 令和七年五月十七日

栗の実川柳社 令和七年六月句会から

平和の国を探す指
八十年続いた平和子孫にも
安心して暮らし守られ日本国
暑い日は早くも水辺子等の声
蛙鳴き水の流れの心地良さ
孫達にいつの間にやら背を越され
健全な子供が育つ親の背な
腹時計わりと正確食事前
ふと思う皆の笑顔の帰り道
米不足過疎地田んぼにや草の山
大の里めざす横綱唯一無二
冬衣装仕舞えぬ日々の寒暖差
近道を選んで帰るふる里へ

清水 早苗
井上 吉男
建元 照子
熊見 まちこ
春名佳世子
新海 孝代
野内 美和
井上 吉男
建元 照子
熊見 まちこ
春名佳世子
新海 孝代
清水 早苗
井上 吉男
建元 照子
熊見 まちこ
春名佳世子
新海 孝代

人の動き

■令和7年6月1日現在の動き

人口 1,301人 (-7)
男 615人 (-6)
女 686人 (-1)
世帯数 596人 (-5)

5月中の移動

出生 1人
死亡 0人
転入 0人
転出 8人

■お誕生日おめでとう

こばやし いとは
小林 絃葉ちゃん (猪之部) 小林 祐太(父)
5月26日 紗希(母)

善意の窓

令和7.5.22～令和7.6.20

【香典返し】

中土居 猪田 敦子 様 夫 有弥 様 香典返し

寄せられたご寄付は、ボランティア活動などの地域福祉の推進に役立っています。



広報についてのご意見・感想は掲示板、
総務企画課までお問い合わせください。

◀ 村民掲示板ページQRコード

【あわくらんどの裏】

道の駅あわくらんど裏、各物風車の壁を抜けると川へと続く階段がある。午前中にあったことを反芻しながら、せめてものご機嫌とりにそこへ降りてひとり昼飯を食べる。川のせせらぎがすぐそばで、短すぎる昼休みにため息を落とすにはぴったりである。ある日、ふと振り返ると、知らないオジサン4人くらいが私と同じ格好で階段に列をなしていた。私たちは手頃な癒しを求めてここに行きついた同士である。私はそれからあわくらんど裏には行っていない。

あわくらんど景
パースランチAセット 薦



村民紹介レター

「生きるを楽しむ」
西栗倉村の人々を
友達紹介レターで
インタビュー！



道上 浩子 さん

Hiroko Michiue

年齢：71

活動：ピアノ教室、

習字教室、学習塾

pick up!

今月のテーマ

「道上さんが教え続ける理由」

「どの子どもでもどこへ行っても恥ずかしうないように」。
その想いで、道上さんは50年近く村の子どもたちにピアノや
習字、勉強を教えてきました。

始まりは24歳頃、5人の生徒からスタートしたピアノ教
室。毎年発表会を企画し、教え子等の貴重な表現の場となり
ました。時には、20人以上が舞台に立つ年も。「私自身は、人前
でピアノ弾いたり、ようせんかったけどな、村の子どもたちに
はできるようになつてほしかったんよ。」「習い事はな、自信
になる。発表会で震えながらも弾いた子は、外に出ても強い
んよ。」と話す道上さん。長きにわたって続けてきた教室の背
景には、村の子どもたちが、どこに行っても胸を張って生きて
いけるように、という温かい想いと願いがありました。自身も
4人のお子さまを育て、大
学進学やスポーツ、教育の
道へ導いてきた道上さん。
現在は週4日、介護の合間
に子どもたちの送り迎えも
こなす日々です。「教えるこ
とが生きがいじゃけん。私
にできるうちは続けるよ」
と、穏やかに笑います。



西栗倉村役場
電話番号

総務企画課 0868-79-2111
出納室 0868-79-2113
保健福祉課 0868-79-2233
産業観光課 0868-79-2230

建設課 0868-79-2231
教育委員会 0868-79-2216
診療所 0868-79-2220
FAX 0868-79-2125

各記事の内容についてのご意見・ご質問は、各課
までお問合せください。

広報
令和7年7月号
No. 746

発行 〒707-0503 岡山県英田郡西栗倉村影石33-1
西栗倉村役場 総務企画課
TEL 0868-79-2111 FAX 0868-79-2125
印刷(資) 谷本弘輝堂



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と
森林の再生に取り組む岡山県西栗倉村との連携
により実現した「森の町内会一問伐に寄与する
紙一」を使用しています